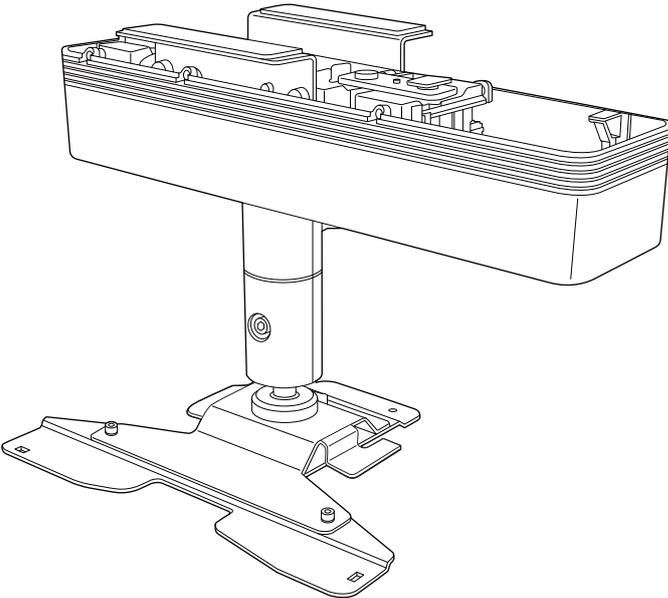


EPSON

ELPMB61

設置工事説明書



安全上のご注意

本書では、配線ダクト取付金具ELPMB61を使って配線ダクトにプロジェクターを取り付けるための手順を説明しています。

金具やプロジェクターを安全にお使いいただくために、必ず本書をお読みください。本書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因となります。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

プロジェクターの取り扱いについては、プロジェクターに同梱の『取扱説明書』と『安全にお使いいただくために』をご確認いただき、取り扱いの注意事項をお守りください。

安全に関する表示

取扱説明書および本製品には、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

記号	意味
	行為を禁止する記号
	行為を指示する記号
	関連する情報や知っておくと便利な情報

設置作業に関する警告

 警告	
配線ダクトの取り付けおよび配線ダクトへの設置工事は、専門の技術や技能を有する専門業者が行ってください。 正しく工事が行われないと、金具やプロジェクターが落下してけがや事故の原因となります。	
設置工事を行うときは、本書の記載に従ってください。 記載事項を守らないと、金具やプロジェクターが落下してけがや事故の原因となります。	
設置工事は2人以上で行ってください。また、金具やプロジェクターが落下しないよう、安定した足場を必ず確保してください。	

 警告	
<p>工事を行う前に、配線ダクトの電源を切ってください。</p> <p>配線ダクトの電源を入れたまま工事を行うと、感電のおそれがあります。</p>	
<p>地震や振動による金具の落下を防ぐため、同梱のセーフティーワイヤーを使って天井と金具をつないでください。</p>	
<p>プロジェクターの落下を防ぐため、同梱のセーフティーワイヤーを使って金具とプロジェクターを固定してください。</p>	
<p>本製品には、本製品に対応しているEPSON製プロジェクター以外のものを取り付けしないでください。</p> <p>本製品に対応していないプロジェクターを取り付けると、金具が落下または破損して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p> <p>本製品に取り付け可能なプロジェクターは、カタログ等で確認できます。</p>	
<p>電源ケーブルの取り扱いの際には、以下の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災や感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない • 破損または加工した電源ケーブルは使わない • 電源ケーブルを強い力で引っ張らない • 設置の際に、取り付け金具などで電源ケーブルを挟まない 	
<p>ケーブル類をプロジェクターや金具に巻きつけないでください。</p>	
<p>ケーブル類の配線を行うときは、ネジやボルトを避けて配線してください。</p> <p>ネジやボルトとの接触により、火災や感電のおそれがあります。</p>	
<p>設置の際は、ネジやボルトを完全に締めてください。</p> <p>完全に締まっていないと、金具やプロジェクターが落下してけがや事故の原因となります。</p>	
<p>本製品の取り付け中や取り外し時に不用意にネジを緩めたり取り外さないでください。</p>	
<p>金具の固定の際は、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。</p> <p>ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着すると金具やプロジェクターが割れ、落下してけがや事故の原因となります。</p>	
<p>金具やプロジェクターにぶら下がったり、重い物をぶら下げたりしないでください。</p> <p>金具やプロジェクターが落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>設置の際はプロジェクターや金具に無理な力を加えないでください。</p> <p>金具やプロジェクターが破損して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>以下のようなときは設置せず、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設置前や設置時に本製品を落としたり、破損したりしたとき • 金具に異常や不具合があるとき 	
<p>本製品とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。</p> <p>本製品は、プロジェクターの取扱説明書で指定されている固定部すべてを使用して確実に固定してください。また、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金具を固定してください。</p>	

設置場所に関する警告と注意

 警告	
<p>本製品に対応した配線ダクト以外には取り付けないでください。 金具やプロジェクターが落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。</p>	
<p>以下のような配線ダクトには取り付けないでください。 配線ダクトが破損するおそれがあります。また、金具やプロジェクターが落下してけがや事故の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 開口部に歪みや破損がある配線ダクト • 壁や床、または傾斜した場所に取り付けられた配線ダクト • 補強されていない天井に取り付けられた配線ダクト • パイプで吊られた配線ダクト • 天井に埋め込まれた配線ダクト 	
<p>屋外、風呂、シャワー室など、雨や水のかかるおそれのある場所では設置・使用しないでください。 火災や感電の原因となります。</p>	
<p>可燃性ガスや爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。 プロジェクター内部は高温になるため、引火して火災の原因となります。</p>	
<p>プロジェクターの吸気口と排気口をふさがないでください。 吸気口や排気口をふさぐとプロジェクター内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>	
 注意	
<p>プロジェクターの動作温度範囲を超える場所に設置しないでください。 故障の原因となります。</p>	
<p>エアコンなどの吹き出し口から離れた場所に設置してください。 エアコンなどの風がプロジェクターに直接あたると環境温度が上昇し、プロジェクターが正しく動作しないことがあります。</p>	
<p>蛍光灯から離れた場所に設置してください。 蛍光灯の種類によっては、プロジェクターのリモコンが誤動作することがあります。</p>	
<p>リモコン受光部に蛍光灯や直射日光などの強い光があたらない場所に設置してください。 強い光がリモコン受光部に当たると、リモコン操作が正しくできないことがあります。</p>	
<p>プロジェクターのレンズや内部部品に汚れが付着しないよう、ホコリや湿気の少ない場所に設置してください。</p>	

 注意	
<p>湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たるような場所にプロジェクターを設置しないでください。</p> <p>火災・感電の原因となることがあります。また、プロジェクターのケースが劣化して破損し、プロジェクターが金具から落下するおそれがあります。</p> <p>ケース劣化によりプロジェクターの落下が想定される環境の例</p> <ul style="list-style-type: none">• 油煙が多い場所（例：工場、キッチン等）• 溶剤、薬品が揮発している空間（例：工場、実験室等）• 油、洗剤、薬品等が付着する場所（例：工場、キッチン等）• アロマオイルを頻繁に使う場所（例：リラクゼーションルーム等）• イベント演出等のスモーク（油成分以外も含む）や泡が多い場所（例：イベント演出装置周辺等）	

設置後の取り扱いに関する警告

 警告	
<p>設置後はネジやボルトを絶対に緩めないでください。</p> <p>定期的にネジやボルトの緩みがないことを確認し、緩みがあるときは確実に締め直してください。完全に締まっていないと、金具やプロジェクターが落下してけがや事故の原因となります。</p>	
<p>設置後は、無理な力をかけたりぶら下がったりしないでください。</p>	
<p>本書で指示している場合を除き、本製品の分解や改造は絶対に行わないでください。</p>	
<p>お手入れの際は濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。</p> <p>水が中に入ったり、ケースが劣化し割れるなどして感電の原因となります。</p>	

安全にお使いいただくために

安全上のご注意	1
安全に関する表示	1
一般情報に関する表示	1
設置作業に関する警告	1
設置場所に関する警告と注意	3
設置後の取り扱いに関する警告	4

準備

同梱品一覧	6
取り付け可能な配線ダクト	8

取り付け手順

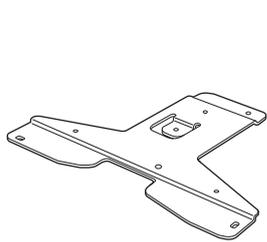
プロジェクターに金具を取り付ける	9
プロジェクター用プレートを取り付ける	9
アームユニットを取り付ける	10
セーフティーワイヤーを取り付ける	12
配線ダクトにプロジェクターを取り付 ける	13
配線ダクトユニットを取り付ける	13
アームユニットを取り付ける	14
サポート金具を取り付ける	16
給電ユニットを取り付ける	17
ケーブル類を接続する	19
金具カバーとセーフティーワイヤーを 取り付ける	20
プロジェクターの向きを調整する	24

付録

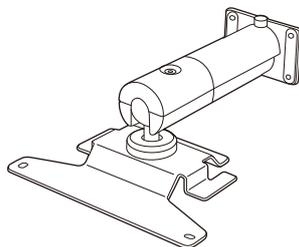
仕様	26
外形寸法図	26

同梱品一覧

作業を始める前に、以下の同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。



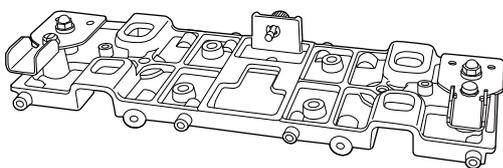
プロジェクター用プレート



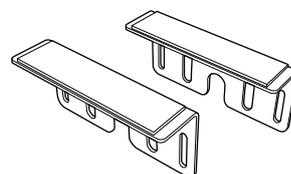
アームユニット



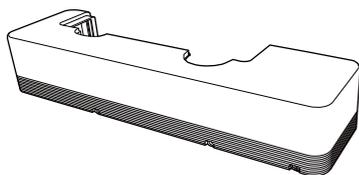
ケーブルクランプ



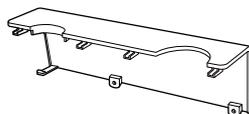
配線ダクトユニット



サポート金具 (2個)



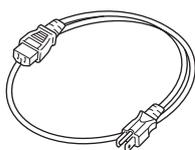
金具カバーA



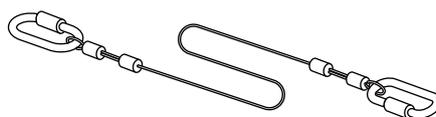
金具カバーB



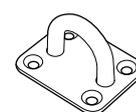
給電ユニット



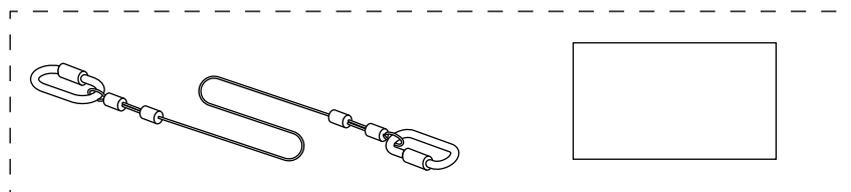
電源ケーブル
(600mm)



セーフティーワイヤー
(500mm)



ワイヤー引掛け金具



セーフティーワイヤーセット (セーフティーワイヤー (500mm)、取扱説明書)



六角レンチ (M4ボールポイント)



六角レンチ (M6)

形状	名称	員数	用途
	M4 x 14mm 六角穴付きネジ (ワッシャー付き) : ブラック	4本	アームユニットを配線ダクトユニットに固定するために使います。
	M4 x 10mm 六角穴付きネジ (ワッシャー付き) : シルバー	4本	プロジェクター用プレートをプロジェクターに固定するために使います。
		3本	アームユニットをプロジェクター用プレートに固定するために使います。
	M4 x 8mm ローレット付きネジ	4本	サポート金具を固定するために使います。
	M3 x 6mm 十字穴付きネジ	6本	金具カバーを固定するために使います。

- 金具の取り付けは、必ず本製品に同梱のボルトまたはネジを使用してください。
- 工具は必要に応じてご用意ください。

注意

鋭利な部分は素手で触らないでください。けがの原因となります。

取り付け可能な配線ダクト

設置工事を行う前に、取り付け先の配線ダクトの型番をご確認ください。

本製品を取り付けられる配線ダクトは以下のとおりです。

以下は2018年12月時点の情報です。予告なく変更することがあります。

メーカー	型番			
パナソニック	<ul style="list-style-type: none"> • DH0201E • DH0202E • DH0203E 	<ul style="list-style-type: none"> • DH0211EK • DH0212EK 	<ul style="list-style-type: none"> • DH0213EK • DH0221EK • DH0222EK 	<ul style="list-style-type: none"> • DH0223EK
東芝ライテック	<ul style="list-style-type: none"> • DR0211EN(W) • DR0211EN(K) • DR0211EN(S) • NDR0211E • NDR0211E(K) • NDR0211E(S) 	<ul style="list-style-type: none"> • DR0212EN(W) • DR0212EN(K) • DR0212EN(S) • NDR0212E • NDR0212E(K) • NDR0212E(S) 	<ul style="list-style-type: none"> • DR0213EN(W) • DR0213EN(K) • DR0213EN(S) • NDR0213E • NDR0213E(K) • NDR0213E(S) 	<ul style="list-style-type: none"> • DR0214EN(W) • DR0214EN(K) • DR0214EN(S) • NDR0214E • NDR0214E(K) • NDR0214E(S)

📌 プロジェクターに金具を取り付ける

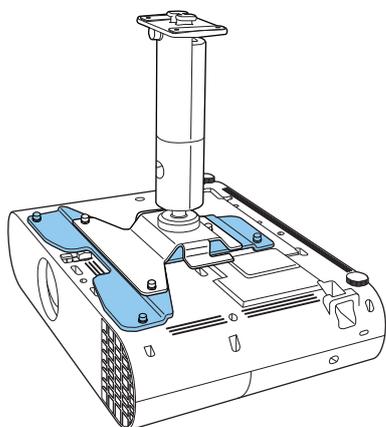
プロジェクターの底面に、プロジェクター用プレートとアームユニットを取り付けます。

⚠️ 注意

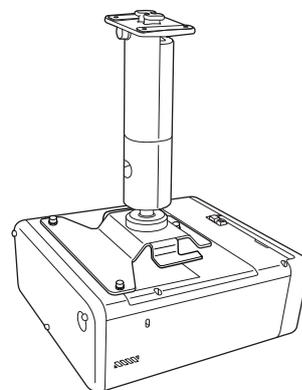
プロジェクターに金具を取り付けるときは、必ず同梱のネジをお使いください。

プロジェクター用プレートを取り付ける

お使いの機種によっては、プロジェクター用プレートの取り付けは不要となります。アームユニットの取り付けに進んでください。

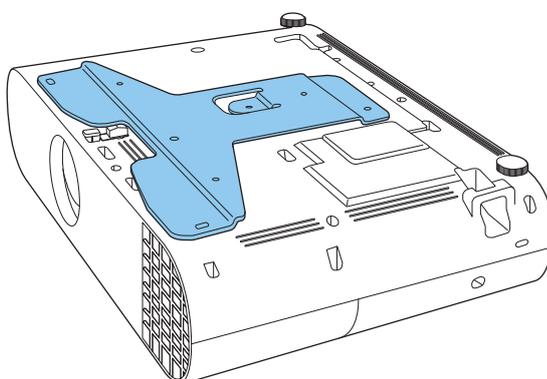


プロジェクター用プレート必要

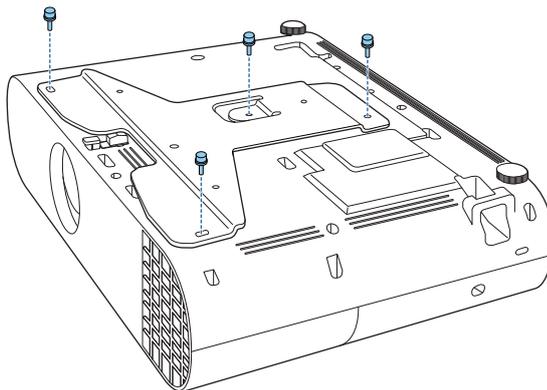


プロジェクター用プレート不要

- 1 プロジェクター用プレートをプロジェクターの底面に乗せる。
プロジェクターの金具固定部のネジ穴と、プロジェクター用プレートのネジ穴の位置を合わせてください。

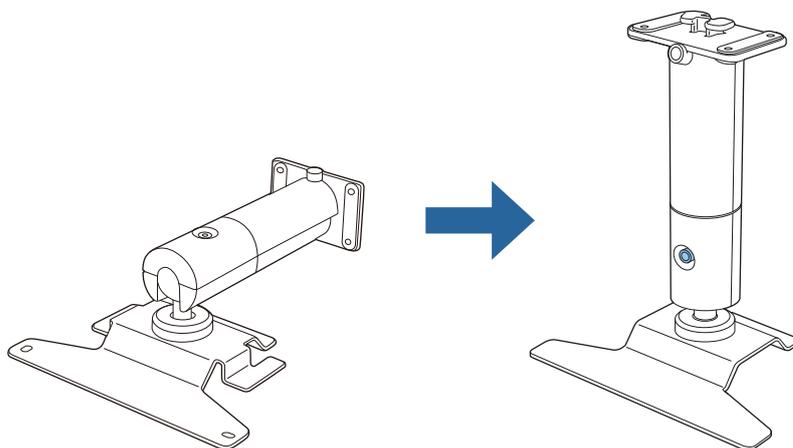


- 2 同梱のM4 x 10mmネジ (4本) で、プロジェクター用プレートを固定する。



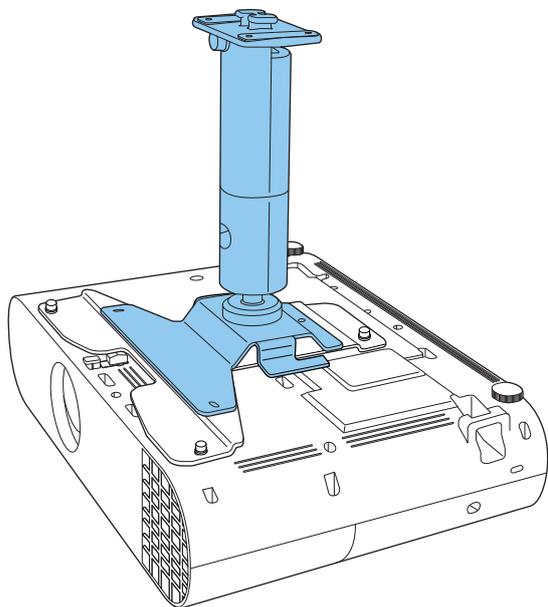
アームユニットを取り付ける

- 1 アームユニットをまっすぐにしてネジを締める。

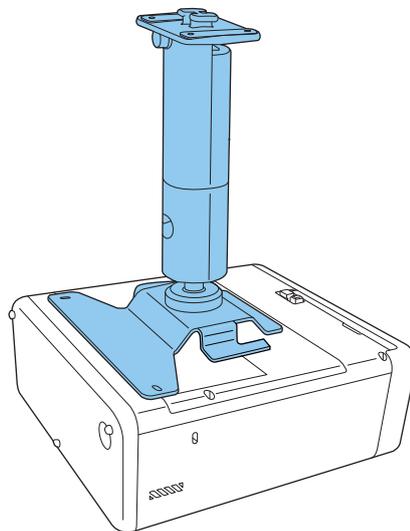


2 アームユニットをプロジェクターの上に乗せる。

プロジェクター用プレートのネジ穴またはプロジェクターのネジ穴と、アームユニットのネジ穴の位置を合わせてください。

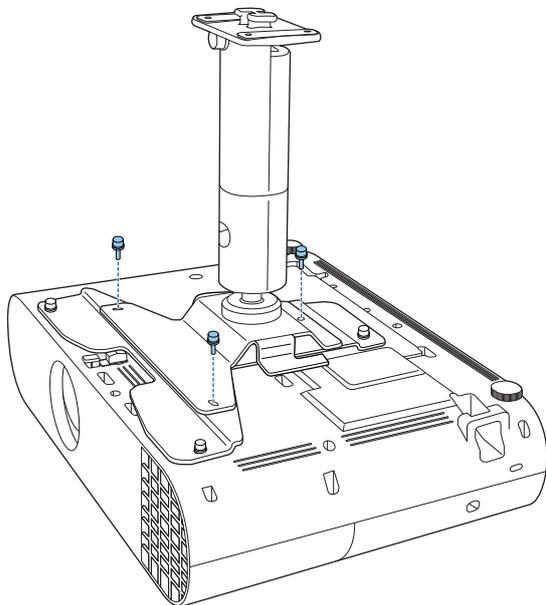


プロジェクター用プレートありの場合

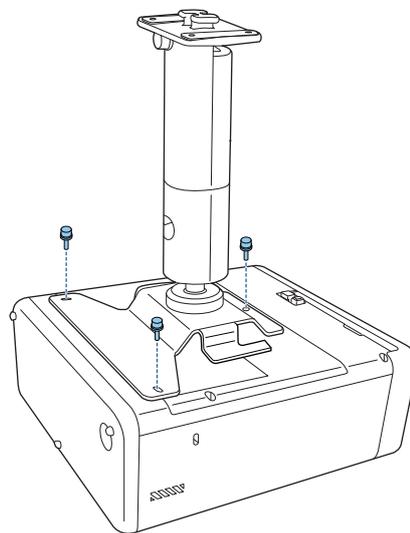


プロジェクター用プレートなしの場合

3 同梱のM4 x 10mmネジ (3本) で、アームユニットを固定する。



プロジェクター用プレートありの場合



プロジェクター用プレートなしの場合

セーフティーワイヤーを取り付ける

天井、壁、棚の上などの高い場所に設置するときは、アームユニット取り付け後、プロジェクターの落下防止のためにセーフティーワイヤーを取り付けます。

取り付け手順の詳細は、セーフティーワイヤーセットの『取扱説明書』をご確認ください。

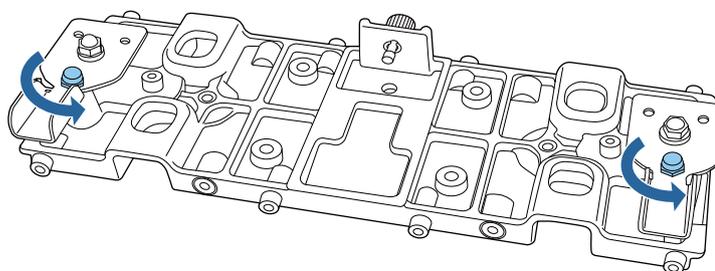
配線ダクトにプロジェクターを取り付ける

配線ダクトユニットを取り付ける

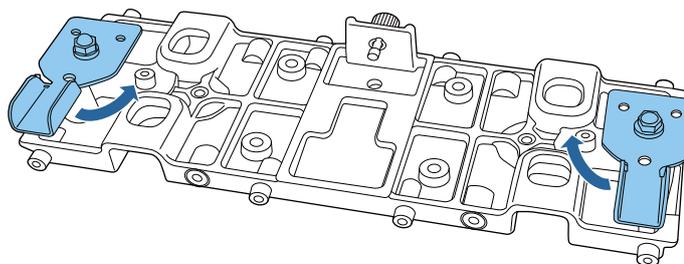
警告

- 取り付ける前に配線ダクトの電源を切ってください。感電の原因となります。
- 配線ダクトがしっかり固定されていることを確認してください。金具やプロジェクターが落下してけがや事故の原因となります。

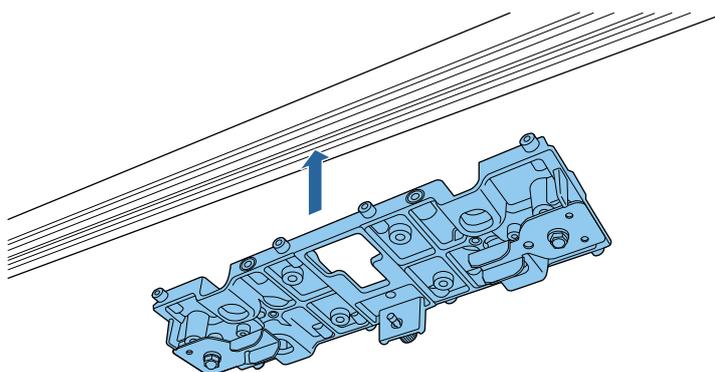
1 配線ダクトユニットの両端にあるレバーのネジを外す。



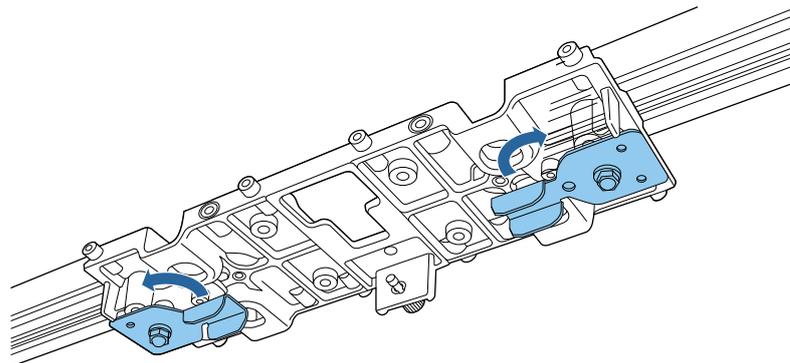
2 配線ダクトユニットの両端にあるレバーをそれぞれ90度回転させる。



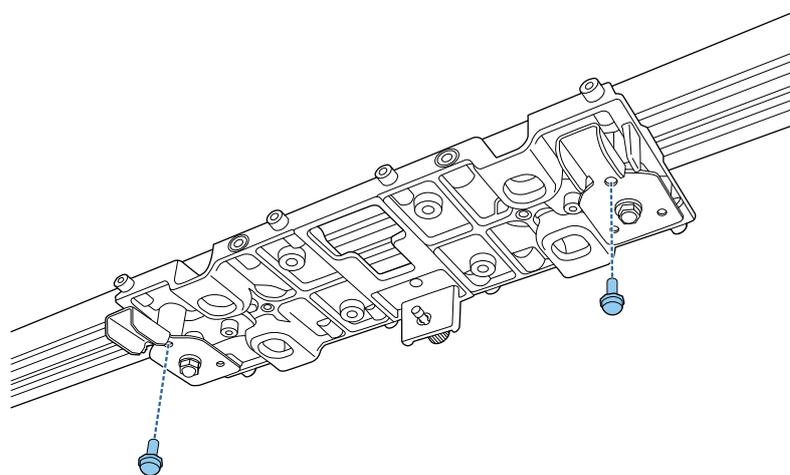
3 プロジェクターを取り付ける配線ダクトに、配線ダクトユニットを差し込む。



- 4 配線ダクトユニットのレバーをそれぞれ90度回転させる。
配線ダクトユニットが仮固定されます。

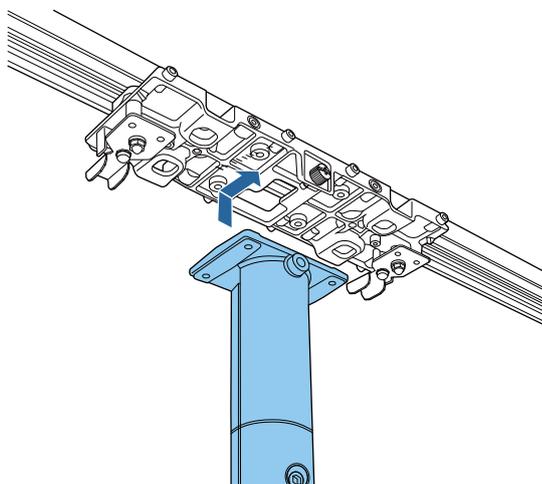


- 5 手順1で外したM4 x 10mmのネジ（2本）を使って、レバーをそれぞれ固定する。

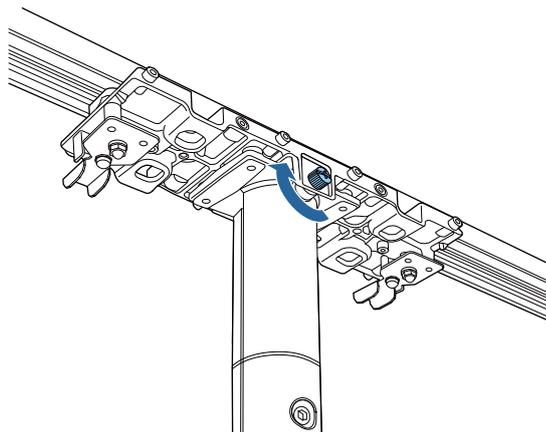


アームユニットを取り付ける

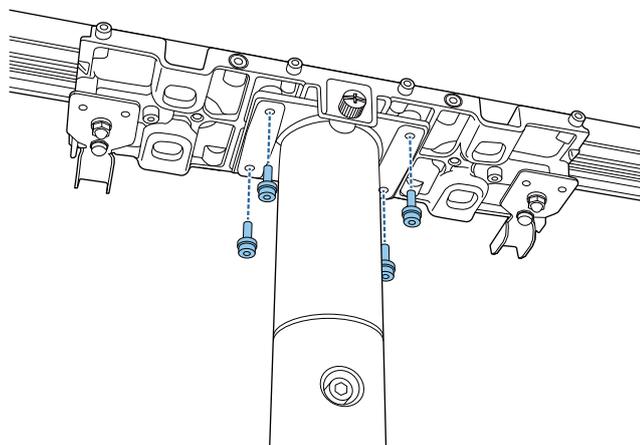
- 1 配線ダクトユニットのくぼみにアームユニットを差し込む。
前側にスライドさせて、配線ダクトユニットのネジとアームユニットのネジ穴を合わせます。



- 2 配線ダクトユニットのネジを締めて、アームユニットを仮固定する。

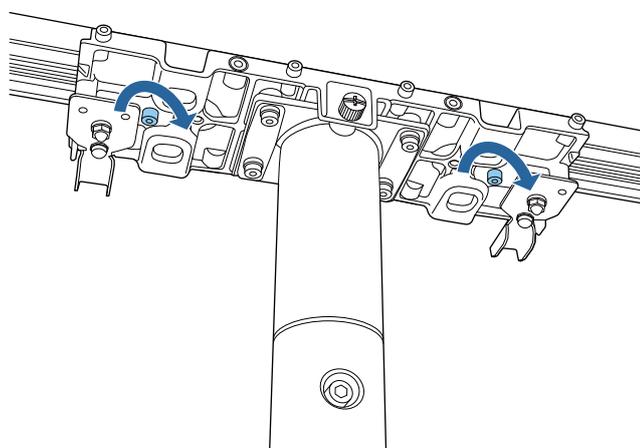


- 3 同梱のM4 x 14mmのネジ (4本) を六角レンチ (M4ボールポイント) で締めて、アームユニットを固定する。



- 4 プロジェクターの位置を確認してから、同梱の六角レンチ (M4ボールポイント) でレバーの横にある2ヶ所のネジを締める。

配線ダクトユニットが固定されます。

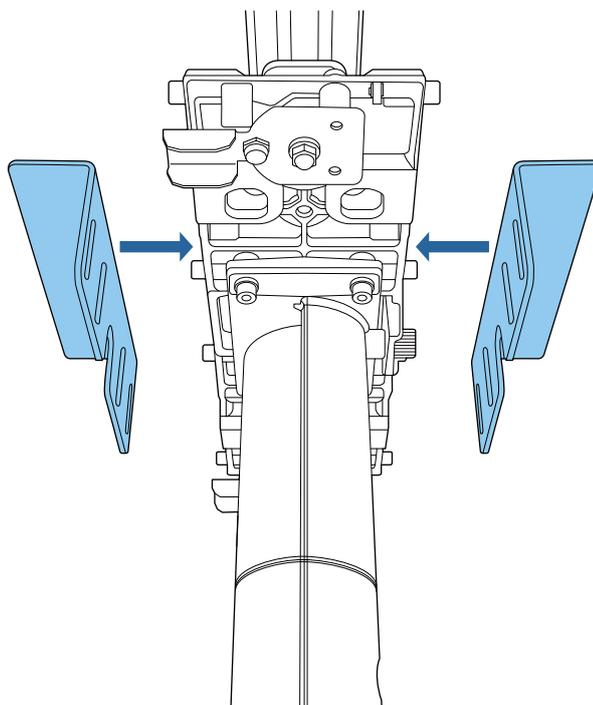


サポート金具を取り付ける

配線ダクトの揺れをプロジェクターに伝わりにくくするために、サポート金具を取り付けることをお勧めします。

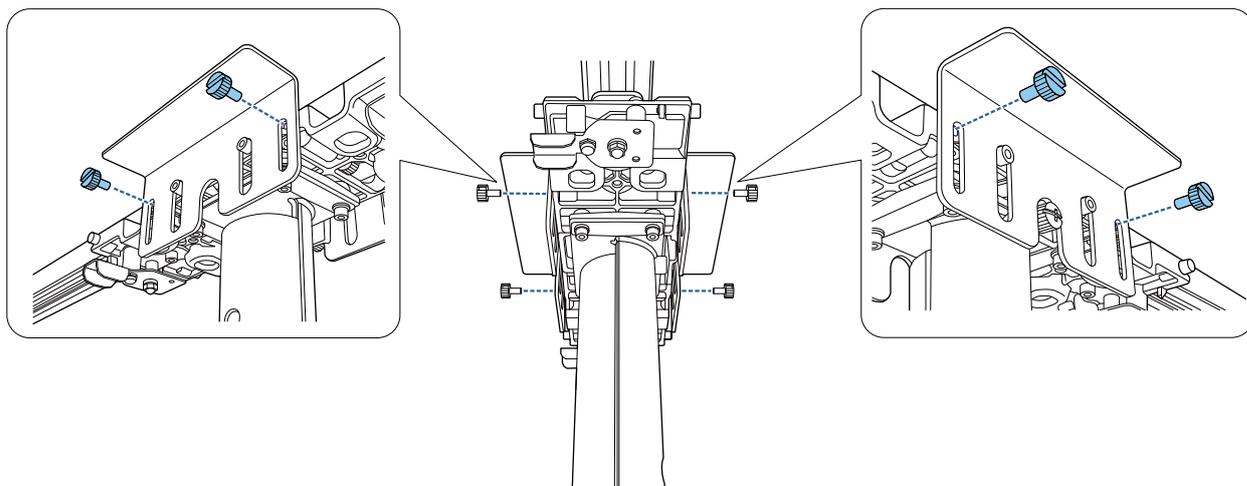
天井の強度が十分でない場合は、サポート金具を取り付けないでください。

- 1 ダクトユニットの両端の突起にサポート金具を差し込む。



- 2 サポート金具が天井に隙間なく当たるようにして、同梱のM4 x 8mmローレットネジ (4本) で固定する。

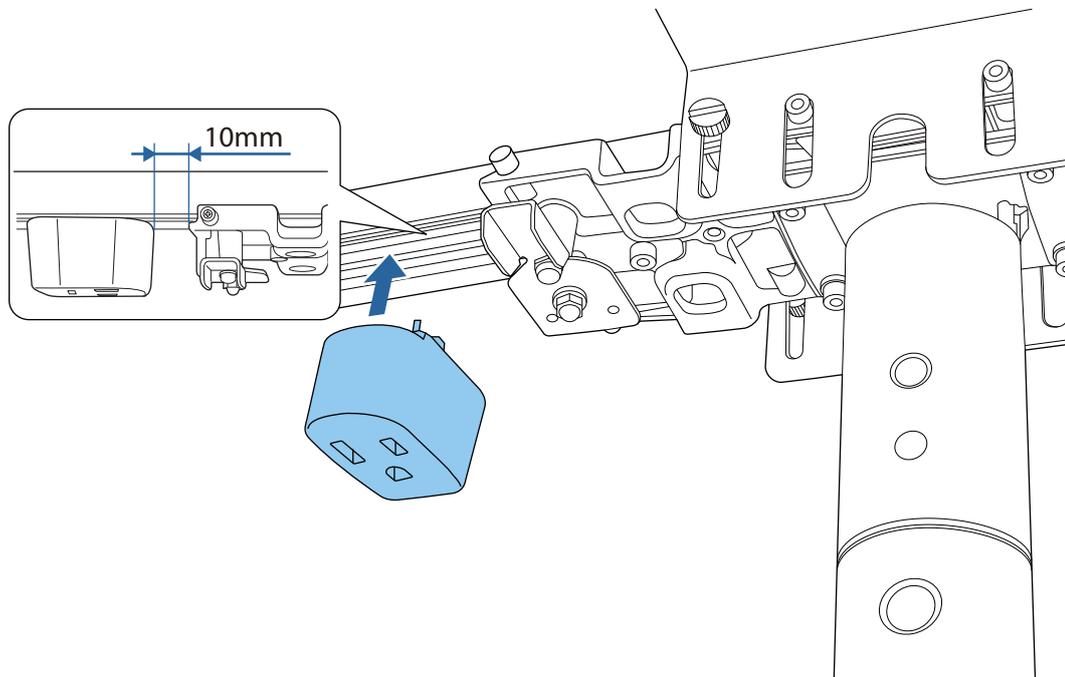
サポート金具がずれないように、マイナスドライバーで増し締めします。



給電ユニットを取り付ける

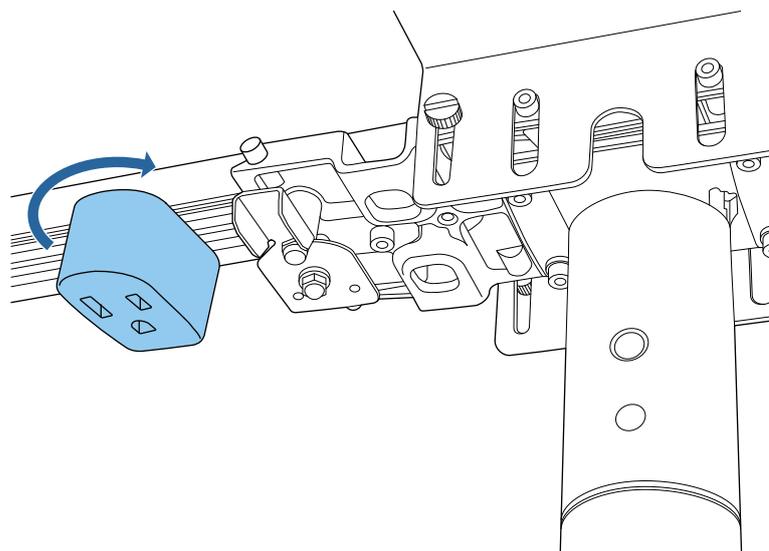
1 配線ダクトの溝に給電ユニットを差し込む。

電源ケーブルの位置と金具カバーのくぼみの位置を合わせるために、配線ダクトユニットと給電ユニットの間は約10mm空けてください。



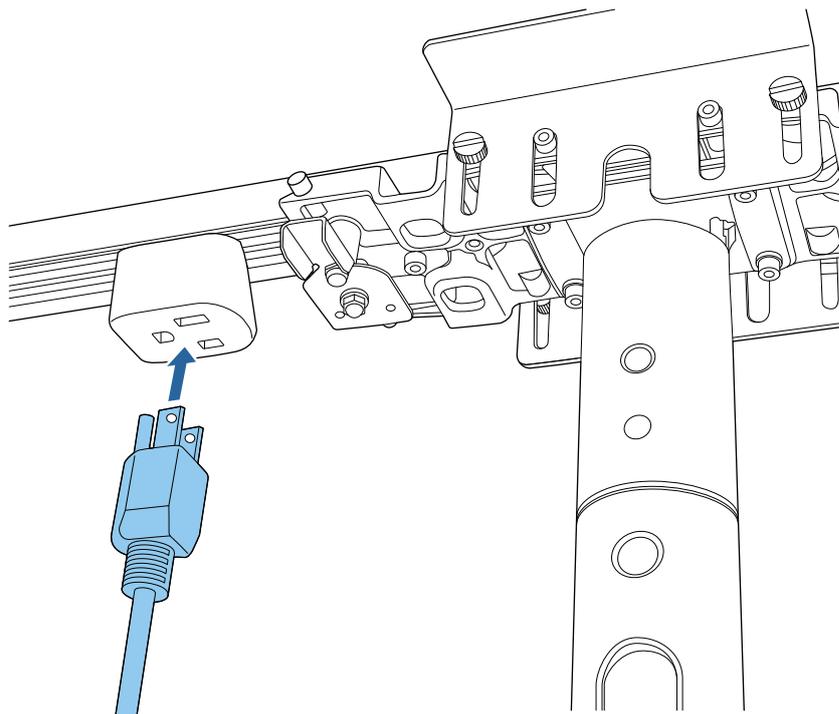
2 給電ユニットを90度回転させる。

給電ユニットが配線ダクトに固定されます。



3 プロジェクターに同梱の電源ケーブルを、プロジェクターの電源端子に接続する。

- 4 電源プラグを給電ユニットに接続する。

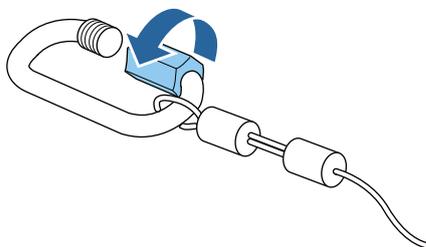


ケーブル類を接続する

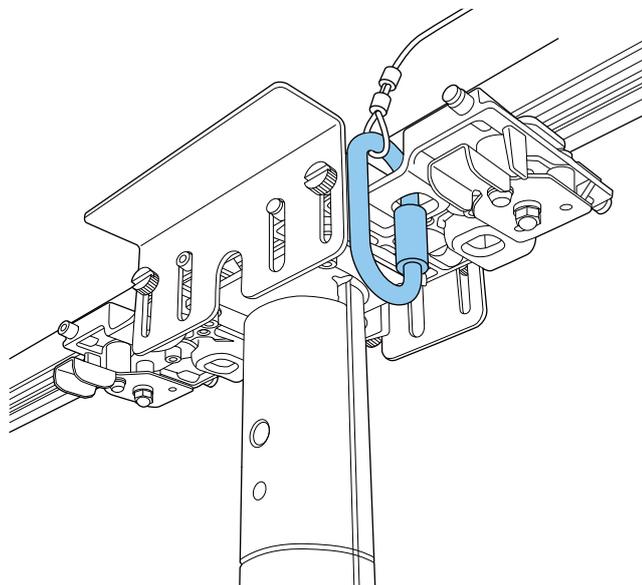
プロジェクターの接続端子部に、必要なケーブル類を接続します。
接続端子はプロジェクターの『取扱説明書』をご確認ください。

金具カバーとセーフティワイヤーを取り付ける

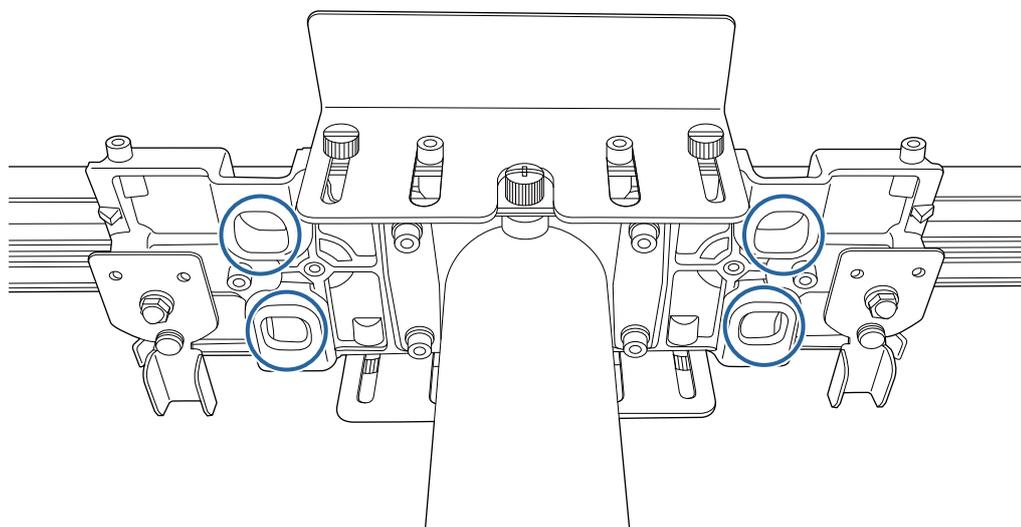
- 1 同梱のセーフティワイヤーのカラビナを緩める。



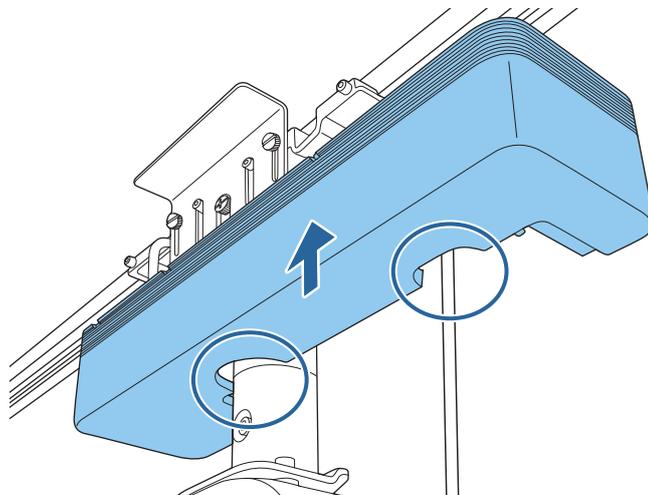
- 2 緩めたカラビナを配線ダクトユニットの穴に通して締める。



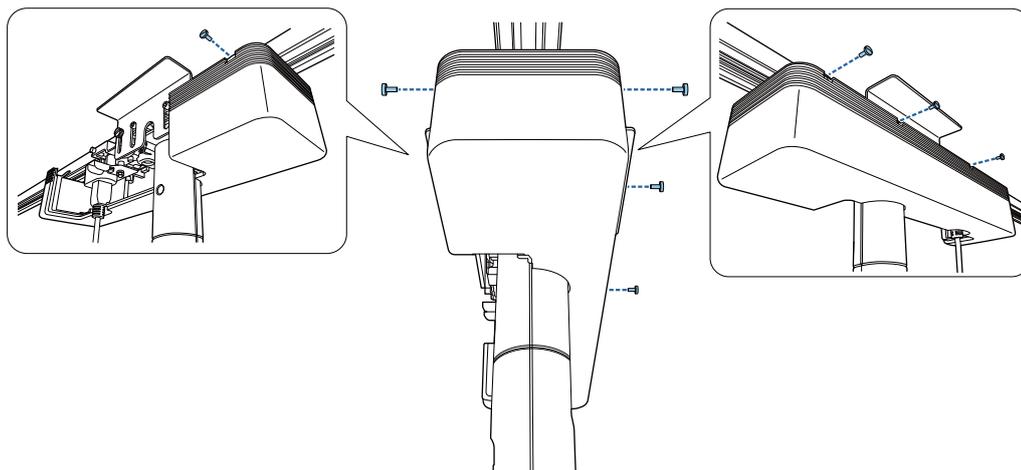
下記のいずれかの穴に通せます。



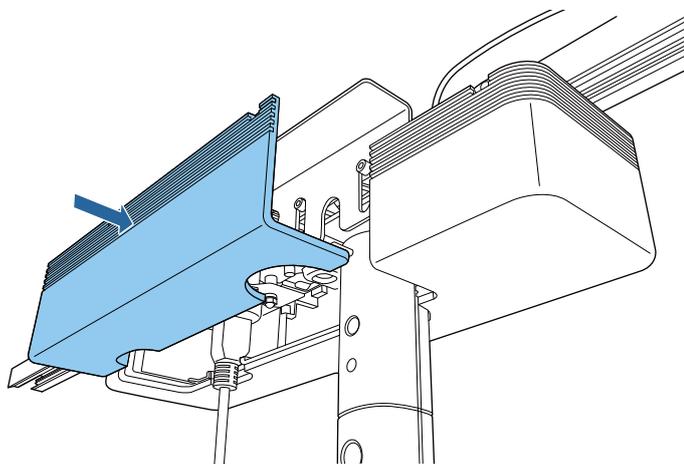
- 3** 金具カバーAを配線ダクトユニットに取り付ける。
アームユニット、電源ケーブルをそれぞれのくぼみに合わせてから、カバーを上をスライドさせます。



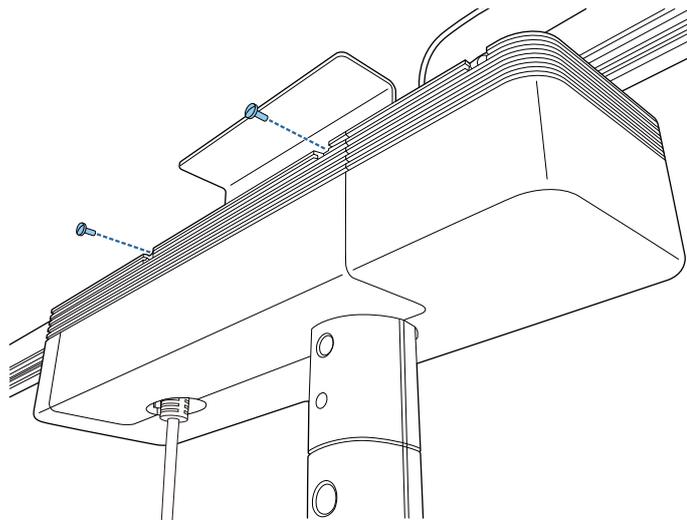
- 4** 同梱のM3 x 6mmネジ（4本）で金具カバーAを固定する。



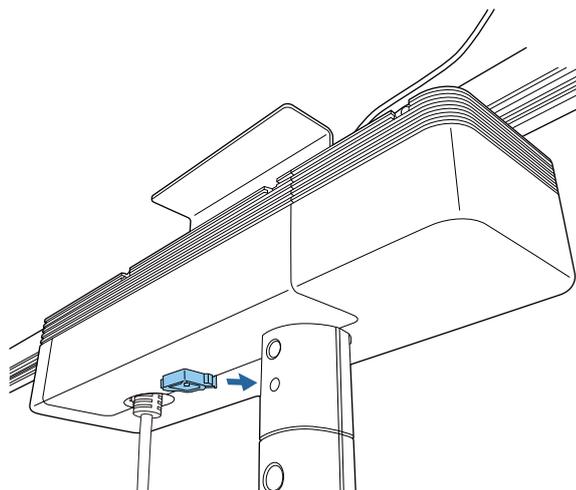
- 5** 金具カバーBを取り付ける。
金具カバーAに引掛けて仮固定します。



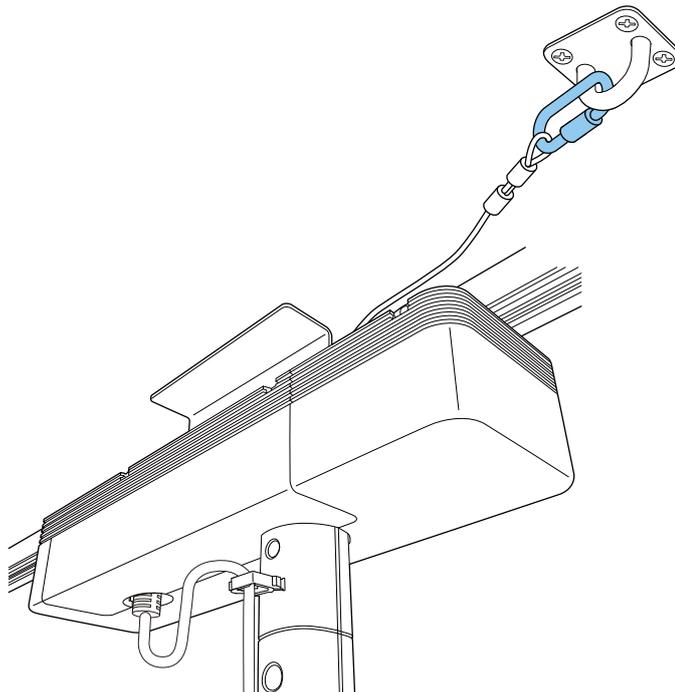
- 6 同梱のM3 x 6mmネジ (2本) で金具カバーBを固定する。



- 7 アームユニットにケーブルクランプを取り付ける。
アームユニットの穴に合わせてケーブルクランプを差し込み、ケーブルを通します。



- 8 ワイヤー引掛け金具を天井に取り付けて、セーフティワイヤーのカラビナを取り付ける。



 注意

ワイヤーがゆるまないように、ワイヤー引掛け金具の取り付け位置を決めてください。

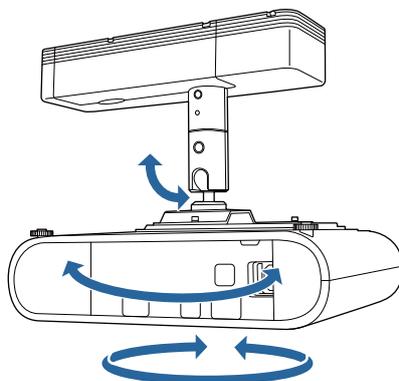


- ワイヤー引掛け金具を取り付けるときは、市販の木ねじ（呼び径3.8mm以上）をお使いください。
- 木ねじは、天井の下地に20mm以上貫通させてください。

❑ プロジェクターの向きを調整する

プロジェクター支持部にあるボールジョイント機構を使って、プロジェクターを任意の角度で固定できます。

固定可能な角度の範囲はお使いの機種によって異なります。詳しくはプロジェクターの『取扱説明書』をご確認ください。

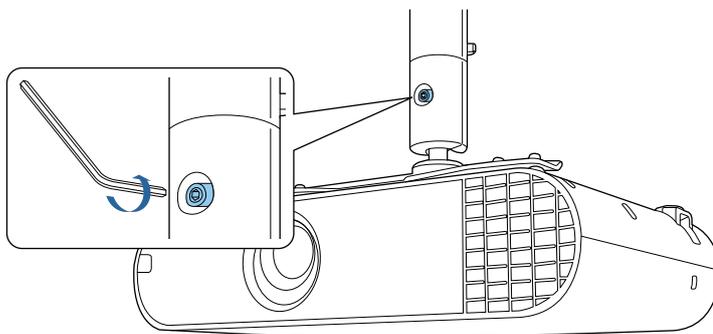


- 1 プロジェクターの本体またはリモコンの電源ボタンを押します。
プロジェクターの電源がオンになります。

⚠ 注意

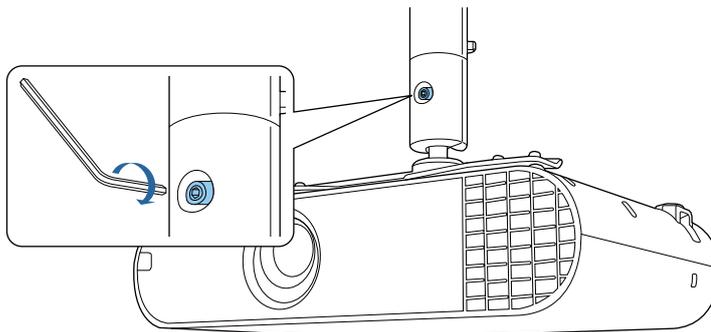
プロジェクターの電源を入れる前に、金具が確実に固定されていることをご確認ください。

- 2 アームユニットのボールジョイント部のネジを六角レンチ（M6）で緩める。



- 3 プロジェクターの向きを調整する。
プロジェクターを下から支えながら向きを調整してください。

- 4 調整が終了したら、ボールジョイント部のネジを六角レンチ（M6）で完全に締めて固定する。



- 調整後はボールジョイント部のネジを完全に締め直してください。完全に締まっていないと、プロジェクターの向きが変わり、映像の位置がずれます。
- プロジェクターの向きを調整したら、投写映像のサイズやピントを調整します。詳しくはプロジェクターの『取扱説明書』をご確認ください。

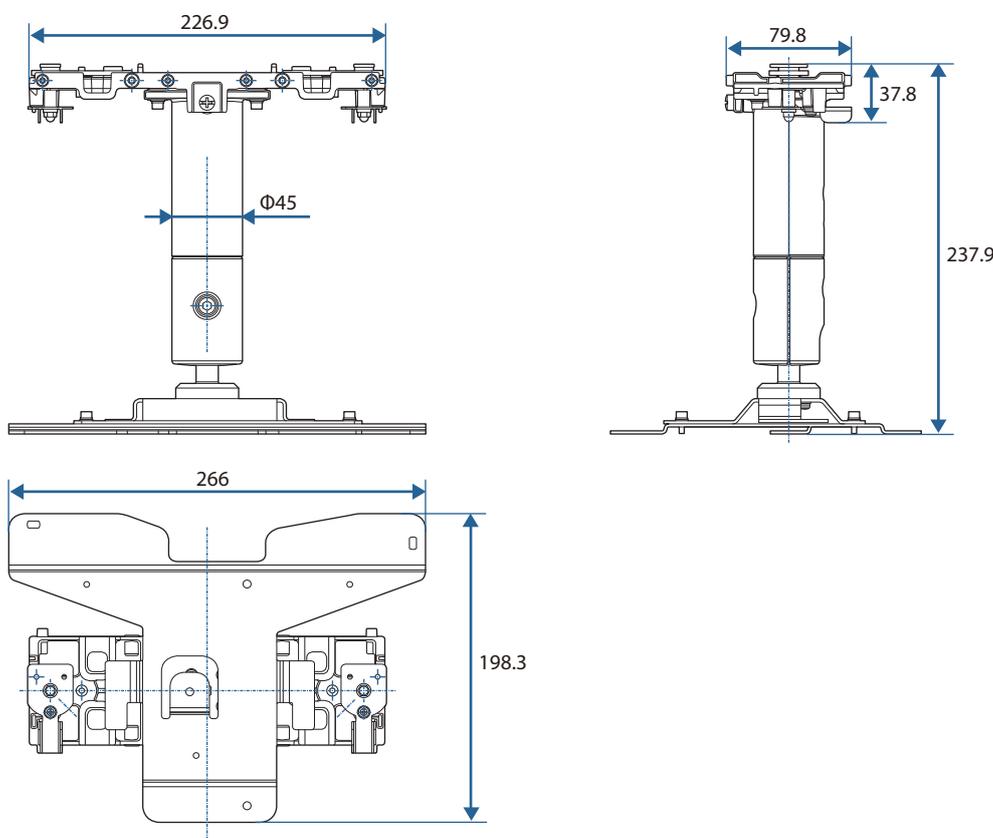
仕様

項目	仕様
質量 (プロジェクター用プレート、アームユニット、配線ダクトユニット、サポート金具、金具カバーA/B)	約2.5kg
最大荷重	約10.0kg

外形寸法図

[単位：mm]

金具カバーを外した状態



金具カバーを付けた状態

